

①桂平小学校でクマの勉強会を行いました！

11月18日(月)に益田市立桂平小学校にて「クマから身を守る研修会」を開催し、児童と教職員、地域住民合わせて28人の方に参加していただきました。

桂平小学校では毎年益田事務所の鳥獣担当が研修会を実施しておりますが、新入生2名を新たに加えて実施しました。研修会では、クマの生態や、地域でクマに出会わないようにできること、山の中で出会わないようにするために必要な準備、出会ってしまった時の対処法について説明しました。研修会では、児童たちは今までに学んだクマの知識や、身を守る方法について思い出しながら、質問に対して積極的に手や声上がる様子が見られました。今年は、クマの出没が多く原因となった誘引物や過去にあった誘引物を聞くと、「そんなものも食べるんだ。注意しないと」といった声が上がりました。

研修会は消防訓練のように毎年実施することで、地域に出てくるクマを減らすことへの意識や、クマと出会った際には落ち着いて対応できるようにすることが大切だと思います。



研修を受ける児童①



研修を受ける児童②

②益田翔陽高校の学生が木工体験を行いました！

11月21日(木)に益田翔陽高校の生徒12名が、島根県立西部高等技術校にて木工体験を行いました。

参加した生徒は総合学科の3年生で、今年度2回の林業学習を経て、林業や木材産業について学んでいます。今回の林業学習では木工体験として、実際に自分たちで木材を使用する取り組みを行いました。

生徒は事前にデザイン図を準備し、当日は西部高等技術校の職員を講師として、糸鋸や電動鋸を使用したカットやビス打ち、やすりでの仕上げを行いました。

参加した生徒からは「自分で作るのが楽しかった」「林業に理解が深まった」等の感想があり、3回の林業学習で生徒たちの林業・木材産業への理解、興味が深まったと感じました。



作業の説明



作業の様子

③林業省力化技術実証事業現地研修会が開催されました！

11月14日(木)に吉賀町の椈谷山国有林にて林業省力化技術実証事業研修会が開催されました。この研修会は、高津川流域林業活性化センターが、島根森林管理署と島根県と連携のもと主催し、県内の林業事業者、森林組合、行政関係者等から46名の方が参加されました。

原木生産や再生林の低コスト化を推進するため、ICT機器の活用による作業効率化を実証する目的で行われ、今回は、遠隔操作式伐倒機「シン・ラプトル」の紹介が行われました。開発会社である松本システムエンジニアリング(株)による機械説明の後、実演が行われました。この機械は、遠隔操作(リモコン)で立木を伐倒・搬送することができる無人作業車です。作業の安全性の向上と作業効率の向上、業務の軽労化対策が課題となる中で、参加者からは「機械に乗らず作業が出来るので事故防止に役立つ」「もっと実演を見たかった」「作業箇所の条件が合えば活用できる機械と感じた」など意見があり、関心の高さを感じました。今後、さらなる機械改良がなされることで、主伐等の促進が期待されます。



実演の様子



実演の様子

④循環型林業の先進事例から学ぶ研修会が開催されました！

11月26日(火)～27日(水)に、循環型林業の先進事例から学ぶ研修会が開催されました。研修は佐賀県伊万里市の(株)伊万里木材市場、中国木材(株)、唐津市のポラテック九州(株)の視察により開催され、林業事業者、木材市場、製材事業者、行政関係者など19名の方が参加されました。国産材スギの流通と集成材の安定供給を目的として設立された伊万里木材コンビナートを構成する、(株)伊万里木材市場、中国木材(株)、そして九州地域でプレカット事業を拡大しているポラテック九州(株)を視察し、原木調達からラミナ製材、集成材加工、プレカット加工、木質バイオマス利用の先進事例を学びました。参加者からは「木材市場が植栽の取り組みをしていることに感銘を受けた」「最先端の製材、加工技術による品質の高い製品づくりをしていた」などの感想があり、高津川流域での新たな取り組みの参考となりました。



木材市場視察の様子



工場視察の様子